

平成24年9月9日（日）

第2回 森林アクティビティ講座

9月9日（日）、標茶町雷別国有林の自然再生事業地及び標茶町と厚岸町にまたがるパイロットフォレストで、一般公募により集まった市民12名が参加して、第2回「森林アクティビティ講座」を実施しました。

今回の講座は、①「ミズナラの種子を採取するシードトラップ設置」、②「キノコの観察会」を実施しました。

ミズナラの種子（ドングリ）を採取するシードトラップの設置では、ミズナラの種子が結実している木の下に、シードトラップ22枚を設置しました。

キノコの観察会は、北海道キノコの会会員の奈良泰世氏を講師に招いて行いました。今年は気温が高い日が続き、子実体の発生が遅れている様子でしたが、キノコが枯木の腐食を促進して森林の生態系の維持・保全に大きく寄与していることや、食に不向きなキノコなどを勉強することができました。また、普段目にする事が出来ない珍しいキノコも見つけることができ、参加者たちは満足した様子でした。



シードトラップの設置の様子



キノコの観察会の様子



冬虫夏草の仲間の「ハチタケ」